

「陸上は一番努力した選手が 一番の結果を残す」



▲雨の中を力走した湯浅仁選手
=2024年1月2日 ©Getsuriku

箱根駅伝4区 区間3位
陸上競技部長距離ブロック(駅伝)
湯浅仁選手(経済4)

▼フィニッシュ後、応援団と記念撮影



今年1月の第100回箱根駅伝往路4区で、陸上競技部長距離ブロック(駅伝)主将(当時)の湯浅仁選手(経済4)が区間3位の力走を見せた。エントリーメンバーの多くが体調を崩す中で、「主将のおれが流れを変える」と責任感からの意地の走りだった。

湯浅選手は「走る力は同期でも下のほうだった」と入学当時を振り返り、「陸上は一番努力した選手が一番の結果を残す。(練習を)やった分だけ返ってくるスポーツです」と言葉に力を込めた。ひた向きに、泥くさく駆け抜けた4年間で得た思いを胸に、卒業の日を迎えた。(インタビュー記事を20~25ページに掲載)